

RAIS (Remote After Loading System) による腔内照射時の 埋め込み型除細動器装着部の被ばく線量測定

・はじめに

近年ペースメーカー (implanted cardiac pacemakers; PM) や埋め込み型除細動器 (implantable cardioverter defibrillators; ICD) の装着患者は増加しており、これらの装着患者に対して放射線治療を施行する機会も増えてくることが予想されます。PM/ICD に放射線が照射された場合には、リセットおよびオーバーセンシングといった動作異常が生じ得ることが知られています。今回、ICD 装着患者に対して RAIS を使用した放射線治療の依頼を受けたので、治療時の ICD の動作の安全性について確認します。

・対象

2012 年 1 月 17 日から 2012 年 2 月 14 日までに ICD を装着し、腔内照射を実施した症例を対象にいたします。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

治療を行う前に ICD 装着患者を想定したファントム実験を行い、低線量であることを確認します。さらに、対象症例に対して半導体線量計およびガラス線量計による線量測定を行い、ICD 装着部および ICD 周辺の線量を“ペースメーカーおよび埋め込み型除細動器装着患者に対する放射線治療ガイドライン”におけるデータと比較し、ICD の正常動作の安全性を確認します。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学病院医療技術部放射線部門においては、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より平成 26 年 12 月 31 日まで

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来 ICD を装着して RALS による腔内照射の治療を受ける患者さんの安全な治療に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

九州大学病院医療技術部

医療技術部部長 大屋信義(責任者)

診療放射線技師 梅津芳幸

診療放射線技師 野口佳孝

診療放射線技師 福永淳一

診療放射線技師 平野奈緒美

診療放射線技師 松本亮二

診療放射線技師 廣瀬貴章

診療放射線技師 松元佳嗣

診療放射線技師 松木孝臣

連絡先：〒812-8582

福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-5818

担当：廣瀬貴章